

【95】下小坂の大けやき

白鬚神社 祭神：猿田彦命

古くから地区の鎮守として崇められてきた神社で、明治5年(1872)に村社の社格を与えられました。

参道の大けやき

白鬚神社の参道に、2本の立派なけやきがそびえ立っています。樹齢500年余り、幹回りが約6mの大木で、社殿に向かって右側の木を「赤けやき」、左側を「青けやき」といいます。川越市の天然記念物に指定されています。



下小坂の獅子舞

白鬚神社の境内に祀られている天王様の祭りとして、7月15日前後の日曜日に獅子舞の行列が村回りをします。元は永命寺内にあった天王様が、明治期の神仏分離により白鬚神社内に移されたことから、白鬚神社だけでなく永命寺に建てた仮宮でも舞を披露します。(市指定無形民俗文化財)



【97】福田の獅子舞 — 赤城神社と星行院

赤城神社

古くから福田地区の鎮守として親しまれてきました。元は別の場所にありましたが、明治期に周辺の神社と合祀し、昭和期に合祀を解消する中で、現在の位置に再建されました。



星行院

号：鶏鳴山東雲寺星行院
／天台宗喜多院の末寺／
本尊：聖観音

赤城神社が再建される前からある古いお寺です。天王様は以前はこちらに祀られていました。

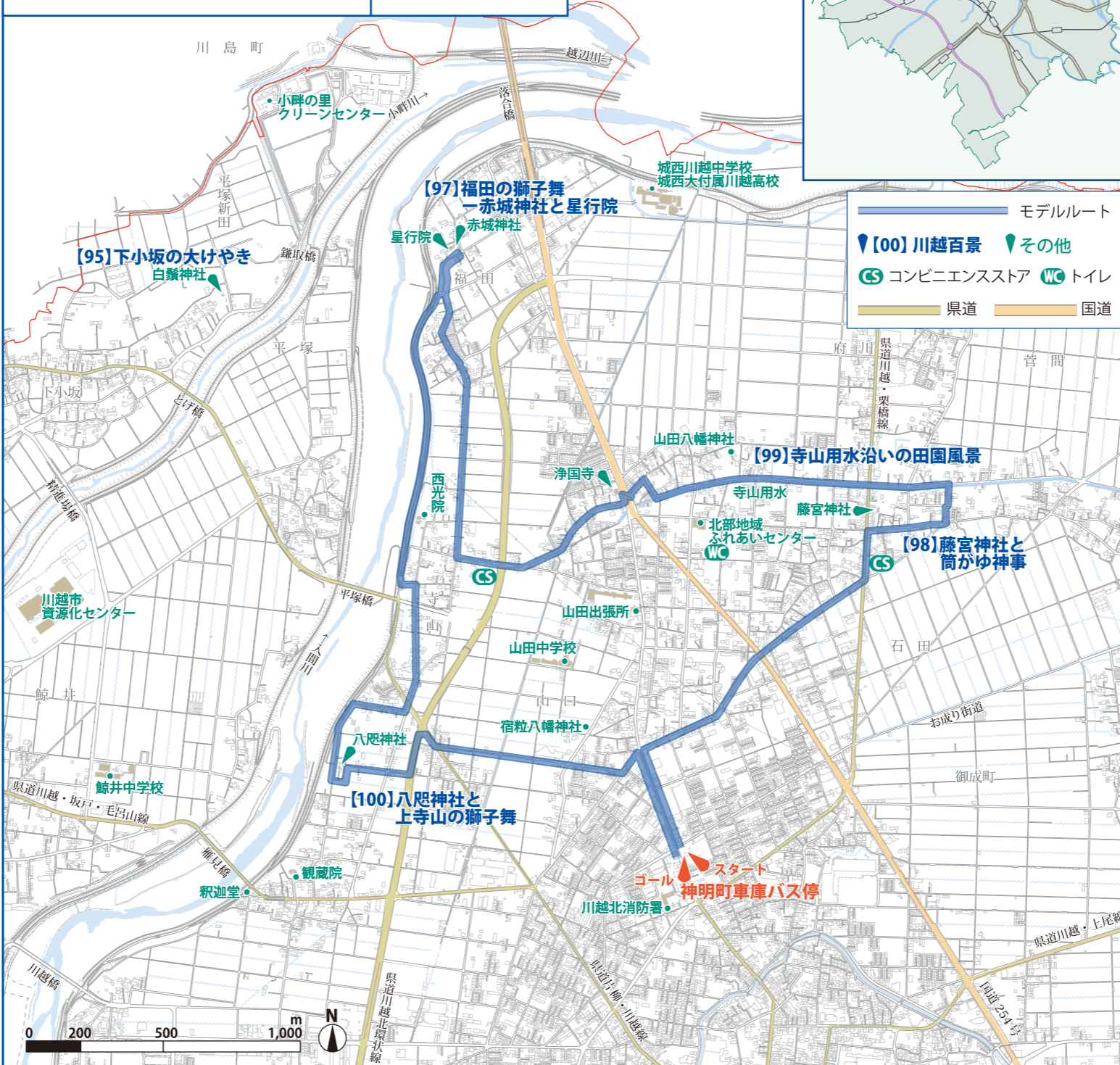


福田の獅子舞

赤城神社内にある天王様(牛頭天王)を祀る獅子舞行事で、7月24日前後の土日に行われます。祭りの1週間前に神社の本殿から御霊を「お仮屋」に移し、祭りの2日間で獅子舞と獅子の村回りを行います。村回りでは要所を回りながら、地区境にふせぎ札を立てて四方を固め、病気や厄災が入らないよう祈願します。天王様はもともと星行院に祀られていたことから、以前は寺の境内に「お仮屋」を建てるなど、星行院とも関わりの深い行事でした。

⑤山田の寺社と田園風景めぐり | 約10km

神明町車庫バス停→【98】→【99】→【97】 徒歩約2時間30分
→【100】→神明町車庫バス停 見学・休憩等含まず



【100】八咫神社と上寺山の獅子舞

八咫神社 祭神：素盞鳴命

上中下寺山地区の鎮守で、天平勝宝年間(749~757)に再興された古社です。古くは「八口(やつくち)社」と呼ばれ、場所も提外にあったようですが、明治4年に八咫神社へ改称し、大正5年の堤防改修の際に現在の場所へ移されました。

上寺山の獅子舞 / 10月第3土曜日

オヒマチ(秋祭り)の行事で、公民館から八咫神社に向かって獅子舞行列が練り歩きます。かつては10月22日でしたが、川越祭りに合わせて日付が変わり、現在の日程となりました。オヒマチが終わると稲刈りが始まる時期となり、この行事が農作業の節目にもなっています。(市指定無形民俗文化財)

夏の悪魔祓い行事「マンガリ」 / 7月第2日曜日

厄病よけを願って行われる天王様の行事で、ボンテン(竹の棒にワラ束を付けたもの)を担いで地区を回り、入間川に入って祝詞を上げて水を掛け合い、最後にボンテンを八咫神社境内にある大山石尊に供えます。(市指定無形民俗文化財)



【98】藤宮神社と筒がゆ神事

藤宮神社 祭神：天児屋命、藤原鎌足

石田地区の鎮守となっている神社で、本地仏として弥陀、薬師の2仏像が安置されています。境内には、江戸~明治期の和算家・大野旭山が奉納した算額があり、市の有形文化財に指定されています。



筒がゆ神事 / 1月15日

年初めに1年の天候と農作物の豊凶を占う神事で、別名「カユウラ」とも呼ばれています。1月15日の早朝に藤宮神社の境内で行われ、大釜に炊いた小豆粥の中にヨシ筒を入れて、筒の中に入った米粒の数で作柄を占います。(市指定無形民俗文化財)



石田の獅子舞

天王様(7月14日)とオヒマチ(10月14日)の日に藤宮神社で、大獅子・女獅子・小獅子の3頭の獅子が舞います。かつては、年3回行われていましたが、中断していた時期を経て、平成10年に現在の日程で復活しました。

【99】寺山用水沿いの田園風景

寺山用水

山田地区では、古くから入間川の水を利用して稲作が行われてきました。寺山用水は浄国寺から芳野の石田本郷に向かって東に流す農業用水です。かつては、平塚橋の上手に取水口がありましたが、堤防ができたことにより、現在のように八咫神社付近の堰から取水するようになりました。水路沿いの道には地区ゆかりの寺社が見られ、四季折々の草花も楽しむことができます。



山田八幡神社 祭神：菅田別尊、伊弉冉命、猿田彦命、菊理媛命、天照大御神、伊弉諾命

寺山用水沿いにある八幡神社は、川越城から見て鬼門に位置し、昔から重要視されてきた神社です。全盛期には、山田・芳野地区に跨る非常に広範囲な地区の鎮守となっていました。江戸時代頃になると村ごとに鎮守を祀るようになり、当社は府川・志垂地区のみの鎮守となりました。元禄10年に造営された本殿は、市の有形文化財に指定されています。

浄国寺 時宗 / 号：天王山清流院浄国寺 / 神奈川縣藤沢清浄光寺の末寺 / 本尊：阿弥陀三尊

国道254号沿いにあり、鎌倉時代の創建です。境内の地藏堂には「夜泣き子育て地藏尊」の伝説があり、子供が泣かないようにと泥団子を供える風習があります。